

広瀬川通信

市民協働の川づくり 8月号

2016/08/08

発行：特定非営利活動法人 広瀬川の清流を守る会

〒982-0011 仙台市太白区長町一丁目7-37-5

☎022-247-6522 ㊟022-290-3205

www.hirosegawa.com info@hirosegawa.com

またも、サクラマス斃死。郡山堰下流のアユやサクラマスの大量斃死が7月から8月にかけてまた発生しました。降雨後の農業取水による急激な減水が原因です。本流は小川の状況となり、魚類が行き場を失い、水温上昇と酸欠で体力が弱り、カモメなどに狙われるなど、サクラマス数十匹が岸辺で斃死しました。広瀬名取川魚協同組合は、サクラマスを捕獲して郡山堰上流へ放流作業を行いました。焼け石に水。愛宕堰まで水がありながら河川機能の喪失を繰り返す。河川管理者と関連者の先日の仙台市や改良区担当者の取水調整はどうなったのでしょうか。天候頼みの河川管理行政には何とも歯がゆい思いです。



写真は7/27 太白区広瀬川右岸JR新幹線橋脚で八木山中科学部生物調査時確認。鳥傷のある体長約40cmのサクラマス

<8~9月予定>

8/13(土) 10時~ 河川清掃 広瀬橋上下流 ヒバサミ・長靴・軍手持参

8/20(土) 午後4時~ 宮沢緑地 「27回広瀬川灯ろう流し」~光と水のコンサートの夕べ(実行委員会主催)

8/27(土) 「政宗さんの川狩り」じゃぶじゃぶ池(八本松緑地)

9/10(土) 10時~ 河川清掃 広瀬橋上下流



7/7 広瀬橋上流全国一斉ミズベで乾杯

(「恋して広瀬川」の仲間たち) <http://mizcan.mizbering.jp/>
水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、新しい賑わいを生み出すムーブメントをつぎつぎと起こしていく市民協働の取り組みです。広瀬川広瀬橋会場にも大勢の市民が集合。午後7時7分に缶ビールで乾杯しました。参加者より、この日が仙台の名物「笹かまぼこの日」とのこと。大発見。来年も、笹かまぼこをつまみにぜひご参加をお待ちしております。hk



バイカモの清流

宮城県白石市沢端川は、伊達政宗の家臣、片倉小十郎白石城の外堀。蔵王山麓から流れ出る白石川から取水し、清流が街中を流れています。白石三白の温麺(うーめん)、和紙、葛(くず)はこの清流の恩恵です。6月から8月にかけて、小さな梅の形の花が水中にそよぐ様子は心を癒します。400余年前の大坂夏の陣以降、真田幸村の次男、長女ほか家臣団をかくまった秘匿の地。自然と美味の地へ、一度訪ねてみては如何ですか。